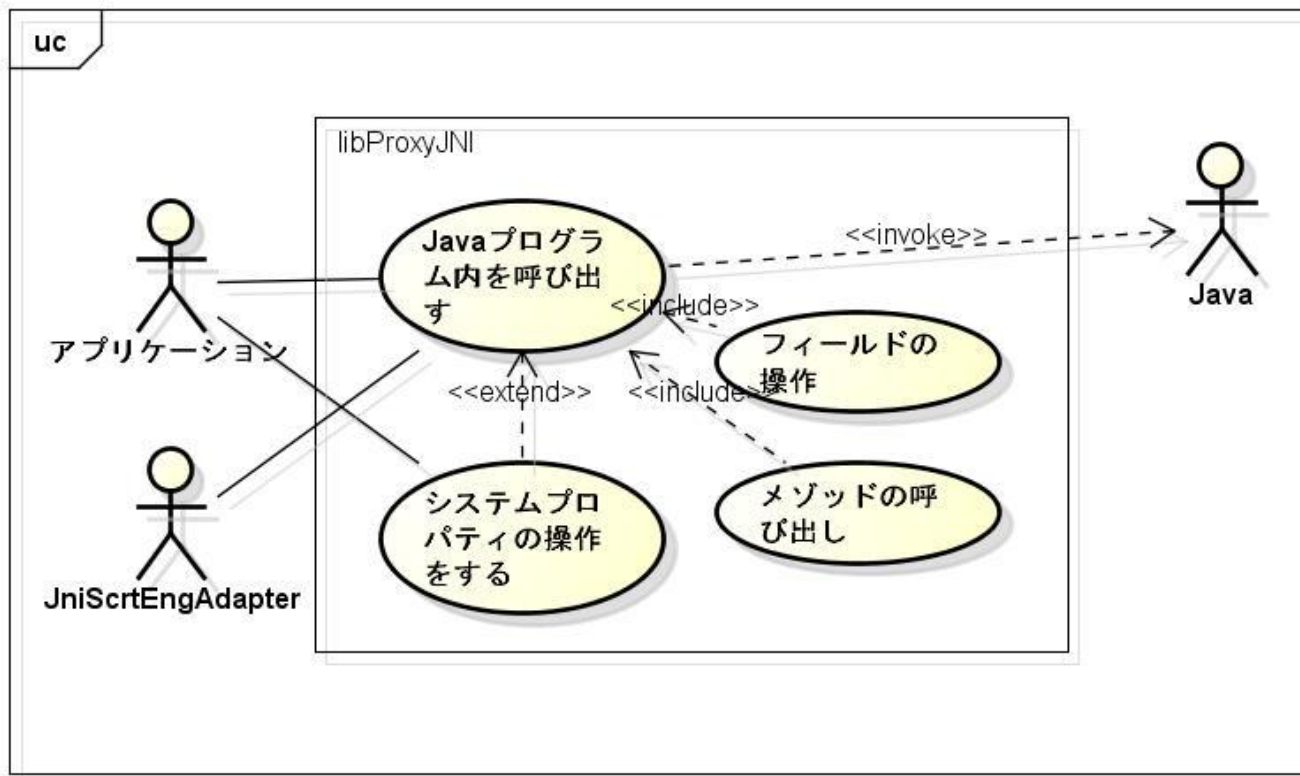


JAVA プログラム呼び出しライブラリ

1. 目的

JAVA プログラム呼び出しライブラリは、JNI のライブラリを使いやすくする使用できるよう事が目的

2. ユースケース図



3. ユースケース記述

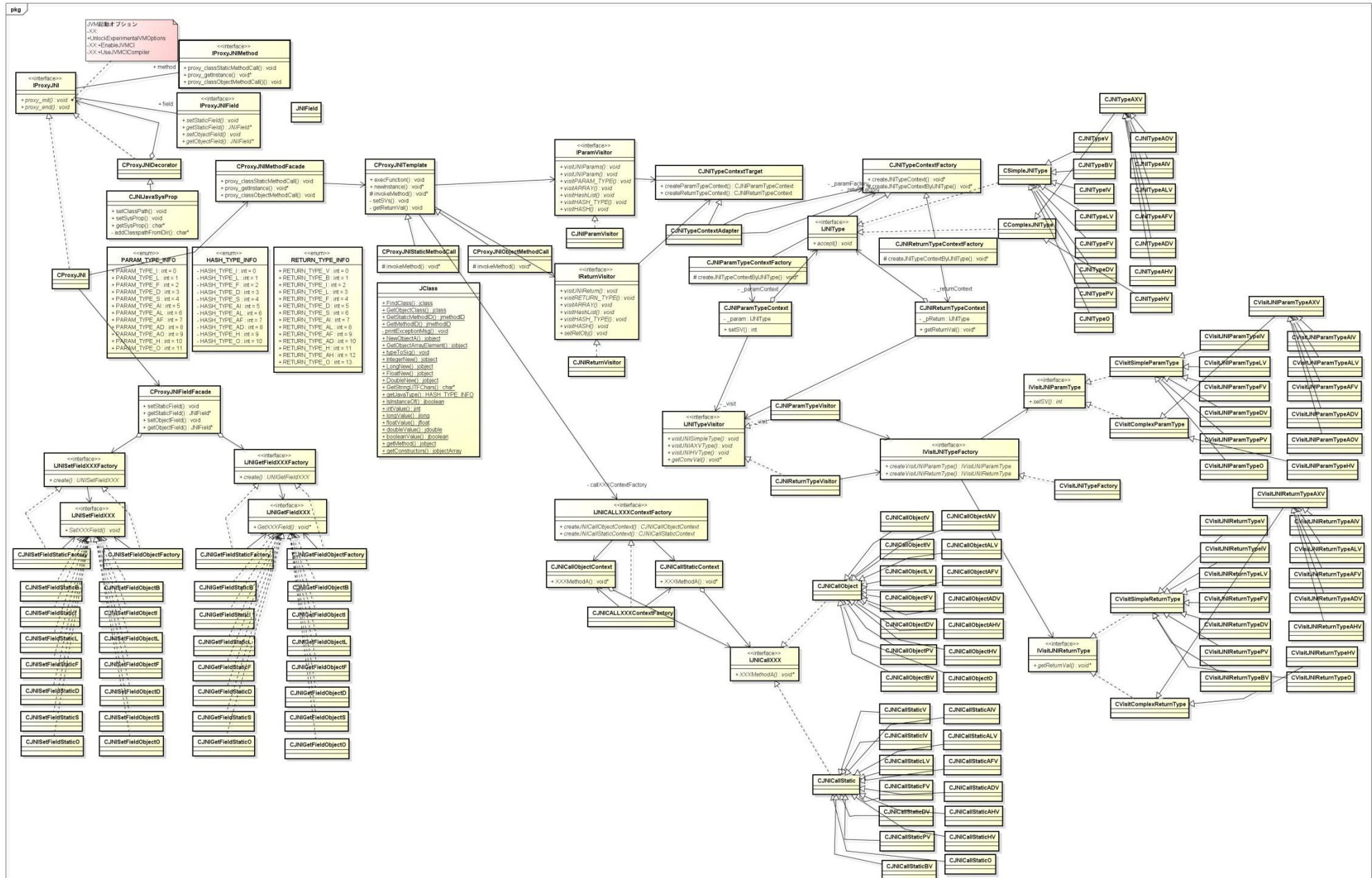
ユースケース名	Java プログラム内のメソッドを呼び出す	
目的	C 言語から java プログラム内のメソッドを呼び出す	
アクター	アプリケーション、JniSertEng	
事前条件	Java ソフトがインストールしている	
事後条件	Java プログラム内のメソッドを呼び出される	
基本フロー	ステップ	アクション
	1	Java プログラムの初期化する
	2	Java プログラムのメソッドを実行する
	3	Java プログラムの終了する
代替フロー	ステップ	アクション
	2.1a	スタティックメソッド実行の場合、スタティックメソッドを実行する
	2.2a	オブジェクトメソッド実行の場合、クラスインスタンスを生成する
	2.2b	オブジェクトメソッドを実行する
例外フロー		

ユースケース名	システムプロパティの操作をする	
目的	C 言語から Java システムプロパティの操作したい	
アクター	アプリケーション	
事前条件	Java ソフトがインストールしている	
事後条件	System プロパティの設定/取得される	
基本フロー	ステップ	アクション
	1	Java プログラムの初期化する
	2	クラスパスの設定する
	3	システムプロパティの取得する
	4	Java プログラムの終了する
代替フロー	ステップ	アクション
	2.1a	システムプロパティの設定する
例外フロー		

ユースケース名	Java クラス内のフィールドの操作(設定/取得)する	
目的	C 言語から java プログラム内のフィールド値の設定/取得出来る	
アクター	アプリケーション、JniSertEng	
事前条件	Java ソフトがインストールしている	
事後条件	Java クラス内のフィールド値の設定/取得する	
基本フロー	ステップ	アクション
	1	Java プログラムの初期化する
	2	Java クラス内のフィールドの操作(設定/取得)を実行する
	3	Java プログラムの終了する
代替フロー	ステップ	アクション
	2.1a	スタティックフィールド値の操作の場合、スタティックフィールド値の設定をする
	2.1b	スタティックフィールド値の取得する

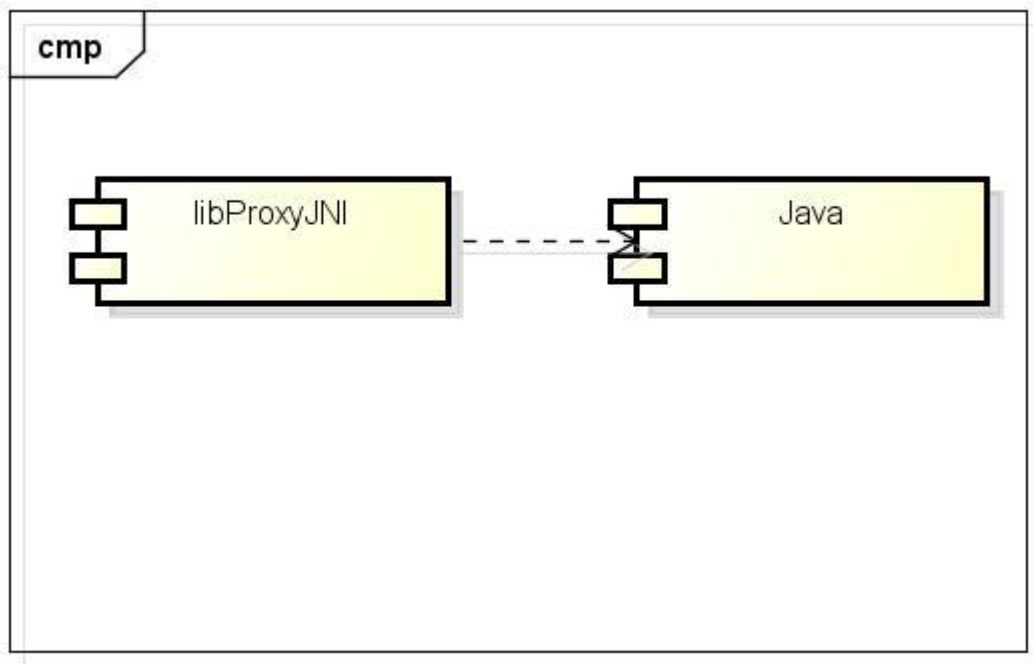
	2.2a	オブジェクトフィールド値の操作の場合、オブジェクトフィールド値の設定をする
	2.2b	オブジェクトフィールド値の取得する
例外フロー		

4. クラス図



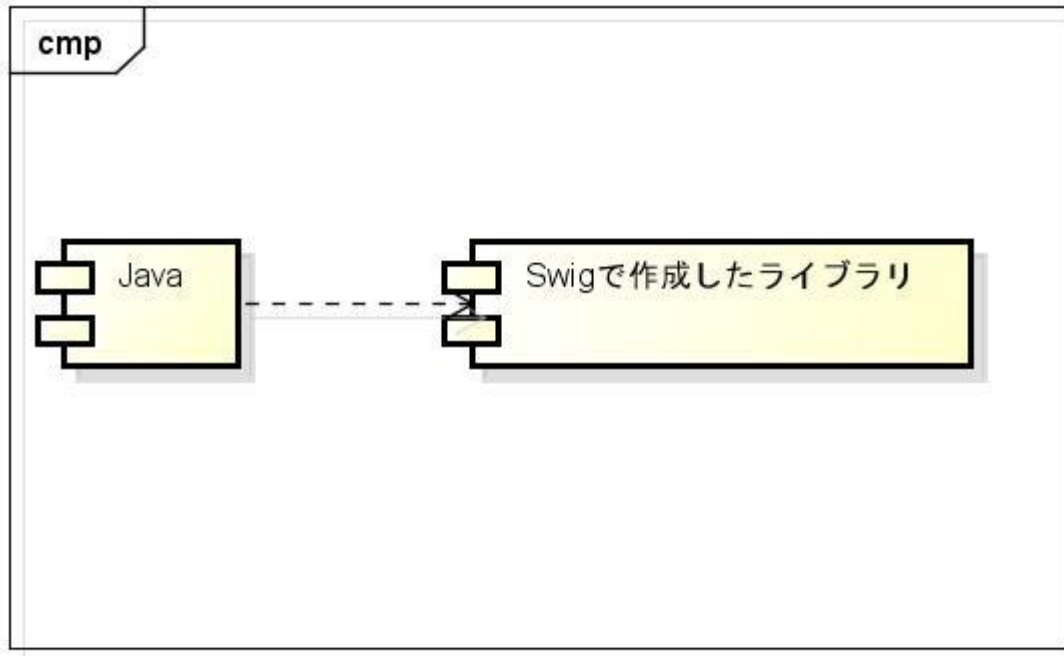
5. 他のソフトとの対比

- libproxyjni



powered by Astah

- swig



powered by Astah